

活動報告書

番号

1

【団体の概要】

事業名: 風の谷環境の森づくり事業
 団体名: NPO芸農人

【活動の概要】

耕作放棄地に環境学習の森づくりを行うことで、荒地がよみがえるのと同時に、ひきこもる若者たちが林業や木工業に興味を持ってもらうことを目的とし、草刈りや広葉樹である桜、梅、栗の合計50株を植樹した。講師から植樹の仕方や森の大切さについて話を聴き、森の役割や森林を守ることの重要性を学んだ。また、間伐材を活かして、身近な生活の道具である「箸」を作って、「マイ箸」として持ち歩くようにした。今後全国と連携し、食べられる森づくりとして災害や福祉など公益的な取り組みにも繋げていくことが出来た。

【プログラム】

実施年月日:	令和3年9月11日(土)		
場 所:	黒潮町風の谷		
日 程:	9:00スタッフ集合 13:00草刈り、植樹 10:00開会、日程説明、現地移動 15:00解散 11:30講師の話 12:00昼食		
募集地区:	全国	募集対象:	ひきこもり当事者と家族、支援者
募集方法:	チラシ、SNS	参加費等:	なし
参加人数:	大人 8名 スタッフ 3名	子供	0名 外部講師 1名

実施年月日:	令和3年11月17日(日)		
場 所:	黒潮町風の谷		
日 程:	9:00スタッフ集合 13:00植樹 10:00開会、日程説明、現地移動 15:00解散 11:30講師の話 12:00昼食		
募集地区:	全国	募集対象:	ひきこもり当事者と家族、支援者
募集方法:	チラシ、SNS	参加費等:	なし
参加人数:	大人 10名 スタッフ 2名	子供	2名 外部講師 1名

実施年月日:	令和3年11月13日(土)		
場 所:	黒潮町風の谷		
日 程:	9:00スタッフ集合 13:00植樹 10:00開会、日程説明、現地移動 15:00解散 11:30講師の話 12:00昼食		
参加人数:	大人 10名 スタッフ 3名	子供	0名 外部講師 1名

実施年月日:	令和3年12月11日(土)		
場 所:	ビオスおおがた情報館		
日 程:	12:00スタッフ集合 13:00開会、講師の話、箸づくり 15:00アンケートを書いて解散		
※当初は午前10名、午後10名の募集だったが、申し込みが午後に集中したことから午前を取り止め、午後の定員を20名とした。			
募集地区:	全国	募集対象:	ひきこもり当事者と家族、支援者
募集方法:	チラシ、SNS	参加費等:	なし
参加人数:	大人 11名 スタッフ 2名	子供	5名 外部講師 1名

○感想 まとめ

<参加者>アンケートより

- ・自然の中で汗を流すのが、とても気持ちよかった。
- ・広葉樹の大切さを知って、もっと山が荒れないように手入れしたい。
- ・自分の植えた木が大きく育つのが見たいので、毎年イベントを企画してほしい。

<スタッフ>

- ・初めて参加の人も多かったが、ケガも無く無事植樹できてよかった。
- ・対象をひきこもる人たちにすることで、当日集合するまで来てもらえるだろうかの不安があった。また、写真撮影も嫌がられることで気を遣ったが、何よりも参加してくれたことが1番嬉しかったし報われた。
- ・県外からの参加者も7名いて、今後も「森づくり」の連携をし継続することになったのは、予想外の成果だった。

活動報告書

番号

2

【団体の概要】

事業名： 「おもてなし」の心育てる里山づくり
 団体名： こうち森林救援隊

【活動の概要】

昼なお暗く鬱蒼としていた地元十市地区住民の避難路ともなっている歩き遍路の専用遍路道をお遍路さんたちへの「おもてなし」の心を育むための活動として周辺の竹木類を除間伐、森林浴もできるような清々しい里山へと大変貌させた。
 また、11月13日(土)には地元のサッカークラブの子どもたち(10名)を含む60名余りに参集してもらい植樹祭を開催、桜やツツジ、アジサイなどの観賞木の苗木(90株)を植樹した。
 3月～4月は桜、5月はツツジ、そして6月はアジサイなどの花々が、お遍路さんたちをお迎えすることができる環境へと整えていく活動を通して、「おもてなし」の心を育むことの大切さを伝えるとともにその醸成にも努めた。
 尚、この植樹祭の様子は、12月5日(日)にテレビ高知の「頑張れ高知！ECO応援団」で放映される予定である。

【プログラム】

実施年月日：	令和3年11月13日(土)		
場 所：	禅師峰寺(四国88ヶ所・第32番札所)		
日 程：	スケジュール 令和3年11月13日(土)		
	8:30 禅師峰寺駐車場へスタッフ集合 打ち合わせ & 準備作業		
	9:30 受付開始		
	10:00 開会式 開会挨拶(共催団体・後援団体等の紹介)		
	10:20 シダレザクラ(2株)カワズザクラ(8株)キリシマツツジ(20株)アジサイ(60株)を植樹		
	11:50 山の日推進事業の標柱を建立 記念撮影		
	12:00 昼食・休憩		
	12:40 木エクラフト教室(マイ箸・ストラップ・竹太鼓・竹けん玉など)とチェーンソー講習会も開催		
	14:20 閉会式 現地解散		
募集地区：	高知市・南国市・香南市他	募集対象：	50 名
募集方法：	チラシ配布・ラジオ放送・	参加費等：	無料
参加人数：	大人 16 名	子供	14 名
	スタッフ 32 名	外部講師	名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
高知県生涯学習課のHP(学びの場)や高知県森と緑の会のHP(イベント紹介)でも案内が掲載された。また、10月29日(金)には高知放送ラジオに事務局長が生出演、植樹祭の開催を告知しPRに務めた。更に、12月5日(日)にはテレビ高知の「頑張れ高知！ECO応援団」で植樹祭の様子が放映される予定。			
○感想			
〈参加者〉			
一般参加者(16名)と、新入隊員を中心としたスタッフを含めた23名がアンケートに回答。その回答内容は、相対的に環境問題や森林整備に関心が寄せられている中で、取り分け里山整備に力を入れて欲しい旨の意見が多くなっていました。植樹活動そのものを楽しみとして捉えられている方や親子の交流の場として期待を寄せられて参加された方、また防災意識の向上にも繋がるものと思われ参加された方など想いは様々でしたが、救援隊のこうした活動に期待を寄せてくれていることも確認できる嬉しい内容となっております。詳しくは、アンケートの集計結果をご確認ください。			
尚、今回のイベントでも、今後は救援隊のメンバーの一員として活躍したいとの嬉しい意思を表明してくれた方が5人にも上りました。			
〈スタッフ〉			
お遍路さん達への「おもてなし」の心を育む植樹祭として実施されたイベントでしたが、「この場所に何故この花木を植えたのか・・・」との想いを伝えていくことが十分ではなかったのではないかと・・・桜やツツジ、アジサイなどの花々が、3月から6月頃まで急坂の遍路道を上って来られたお遍路さん達を、和ませてくれることを願ってこのイベントを開催していることを、もっともっとアピールしていく必要があったように感じ反省しているところです。			

活動報告書

番号

3

【団体の概要】

事業名： 里山整備&親子自然体験推進事業

団体名： アジロ山の自然と環境を守る会

【活動の概要】

長期化するコロナ感染の中ですが「森」の中で子どもたちが生き活きとした自然体験が出来るように、地元住民と森林ボランティアの支援でゴミの山だった山を子供たちの声が聞こえる「宝お山」に変身させ市民に開放しています。

今期は長雨で生い茂った草や「アジロ自然の森」遊歩道の修復と、風で倒れた風濤木の除去などのチェーンソーや草刈り機などの使用手帳を要する作業は「こうち森林救援隊」に委託して行い、草引きや道の整備などはボランティアの協力で行い、市民や地域の子供も達が安心して山登りや自然体験が出来る環境整備を行いました。

参加者の体験型イベントを目指し10月には子供たちとの道の整備を行うイベントを企画。大雨や猪の被害で痛んだ「遊歩道」をスタッフのアドバイスで修理し、なぜ道が痛むのか、なぜ猪が道を掘り返すかなど対話しながら作業をし、子ども達は普段と違う行事に感動。森を散策して日頃の運動不足を解消していました。

又森の落ち葉に親しみ焼き芋体験をし、火を見た事がない子どもたちは「焼き芋」に大喜び。新聞紙でお芋を包み準備をし、お山の散策では落ち葉に触れながらキノコを見つけたりして自然を満喫。お昼ご飯を食べて午後から森の恵みを活用したストラップや竹のコップ作りを行いました。

整備された「アジロ自然の森」で元気に遊ぶ子どもの姿が高知新聞の子育て応援「ココハレ」に掲載されました。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月3日(日)

場所： アジロ自然の森(高知市朝倉己1152-24)

日程：

開会でコロナの注意事項、「山の日」の補助金で運営されている事、森での注意事項を伝え、鍬などを持って山に。

大雨や猪被害で痛んだ遊歩道を直しながら、何故こんなに道が痛むのか？それは猪が掘り返してミミズを捕る為、石を掘り返し遊歩道を荒らす状況が多くなった、絶えず森を見回る事が大切など、こども達と対話しながら作業を行いました。

初めての体験作業で心配でしたが子供達は元気に丸太を運んだり、遊歩道に大きな石が転んでいてビックリしたりしながら痛んだ道をスタッフと直し、綺麗になった道を元気に上り森でキノコを見つけたりして自然を楽しんでいました。

午後は森の恵みを活用して思い思いのクラフトを作っていました。

10:00 開会挨拶

10:15 スタッフ紹介・日程の説明と注意事項

10:20 ◎森を散策

※遊歩道の整備体験

※森の散策をして自然体験を

12:00 お昼

13:00 ◎森の木を使ったストラップ作り体験

14:30 終了

募集地区： 県下

募集対象： 親子

募集方法： 暮らしの情報誌・インターネット・チラシ配布

参加費等： 1人200円

参加人数： 大人 10名

子供 14名

スタッフ 8名

外部講師 名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

<参加者>

森の落ち葉と遊びながら自然体験が出来た。岩登りやブランコで運動不足を解消が出来た。猪がミミズを取る為大きな石を転がしているのにビックリした。猪がミミズを捕る為道を傷めているのが実感できた。大雨が降ると道に水が流れ痛むのがわかった。土に触れる事が出来て楽しかった。森を散策するだけでなく一緒に作業をすると子供の成長にとっても良い。スタッフのおじさん達が苦勞して道造りをしているのが良かった。もっと体験作業してみたい。

<スタッフ>

道造りなど体験型イベントは手間はかかるが子供とふれ合いが出来て良い。暑い中熱中症に負けず草刈りを行ったかいがあった。参加者に喜ばれるのがボランティアの生きがいだ。森の整備は大変だが元気な子供の笑顔を見ると喜びに変わる。リピーターのお母さん達が受付や後始末をしてくれて嬉しい。

実施年月日: 令和4年1月16日(日)

場 所: アジロ自然の森(高知市朝倉己1152-24)

日 程:

開会で「山の日」の事業である事やコロナの注意事項、山での注意事項を行い開催しました。山に登る前にみんなで芋を新聞紙で包み水に濡らしホイルで包み、焼き芋が出来のを楽しみに森へ、1才位の幼児コース・元気なリピーターなどのコースに分かれて森の落ち葉や生き物を見つけたり、木や岩に登りブランコに乗ったり、洞窟探検やコウモリ観察などで体感して大満足でした。午後は、自然の素材を使った竹の太鼓・木の鉛筆・鉛筆立てやストラップ作りを行いました。

10:00 開会挨拶

10:15 スタッフ紹介・日程の説明と注意事項

10:20 ◎森を散策

※みんなで焼き芋の準備を

※森の散策をして自然体験を

12:00 お昼

※焼き芋を食べながら昼の食事を

13:00 ◎竹の太鼓・木の鉛筆やストラップ作り体験

14:30 終了

募集地区: 県下

募集対象: 親子

募集方法: 暮らしの情報誌・インターネット・チラシ配布

参加費等: 1人200円

参加人数: 大人 20名 子供 41名

スタッフ 11名 外部講師 名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

高知新聞子育て応援ウェブメディア「ココハレ」

○感想

<参加者>

焼き芋も体験は普段火を見る事がない子ども達が火の大切さを知れた。美味しい焼き芋を食べれて嬉しかった。今日一日親子で外で過ごせて良かった。子どもたちはゆっくりと自然を観察しながら、岩登りやブランコに乗ったりして日頃の運動不足を解消して大満足顔でした。自然の中に遊具があり子どもが楽しめる。竹の太鼓作りが楽しかった。山で遊ぶのが初めてでとても新鮮だった。山の歩き方が上手になってきた。子どもが楽器が好きなので本当に喜んでる。

<スタッフ>

森の木を使った木の鉛筆・竹の太鼓などの「クラフト体験」は準備が大変だが喜ばれる。コロナで心配したが「焼き芋体験」を実施して良かった。コロナに負けない元気な子どもの姿に感動した。苦勞して森を整備して良かった。リピーターの子どもに「子どもスタッフ」の名札を付けてもらい森の案内をお願いしたら生き活きた姿で活躍してくれた。

活動報告書

番号

6

【団体の概要】

事業名： 2021ふなと四万十川源流点ウォーキング
団体名： 船戸活性化委員会「四万十川源流点」

【活動の概要】

四万十川源流地域の豊かな自然環境の中を、地元ガイドとともにウォーキングすることにより、里山の文化と保全活動を理解していただく。本年もコロナ禍ではあったが、屋外の事業であり感染症対策を十分に注意して行うこととした。参加者は当初50人程度の申し込みがあったが、キャンセルが多く最終的に38名の参加となった。

【プログラム】

実施年月日：	令和3年11月13日(土)		
場所：	高知県高岡郡津野町船戸地内 満天の星・四万十川源流点・集落活動センターふなと		
日程：	11月7日(日)古道整備 11月13日(土)ウォーキングイベント(参加者数:38名+スタッフ15名+講師2名) 8:30 満天の星本社駐車場 集合、開会セレモニー 9:15 ウォーキング出発(堂海公園出発者 車で移動) 11:30 四万十川源流の碑到着 源流点折り返し 12:30 集落活動センターふなとで昼食(今年は弁当) 14:00 河内五社神社(秋の例祭津野山古式神楽・船戸花取り踊り鑑賞)		
募集地区：	高知県内	募集対象：	ウォーキング可能な方
募集方法：	津野町HP・新聞・チラシ	参加費等：	一人2,000円
参加人数：	大人 38名 スタッフ 15名	子供	講師(外部指導者)
○マスコミ等での紹介例(あれば)	2021年10月24日付け高知新聞で紹介された。記者本人も参加された。		
○感想	(参加者) 天候も良くて楽しかったです、お弁当に大福もついていて嬉しかったです。 紅葉の時期で楽しみながらウォーキングすることができた。テレビで源流点のことを知り、行ってみたいと思っていたのでいい経験が出来て良かったです。 (スタッフ) コロナ感染症のステージが下がり緩和されたことにより、参加申し込みをされていた方のキャンセルが多かったが、参加された方は楽しく過ごされたので良かった。		

活動報告書

番号

7

【団体の概要】

事業名:	～森林インストラクターといく森林セラピーロード散策～ 「栲原町久保谷ロードセラピー体験と植生観察」開催事業
団体名:	高知県森林インストラクター会

【活動の概要】

○ 概要

栲原町松原に位置する久保谷ロードは、森林セラピーのロードに認定されている。この行事では、セラピー体験とあわせて、植物やきのこの観察を実施することにより県民の皆さんに森林に親しむ機会を提供するとともに森林の効能に対する理解を広く深めていただくことを目的として開催した。

当日は、森林セラピーの講話のあとセラピーガイドとともに久保谷ロードを散策しながら周辺の自然を観察した。森林セラピーは科学的な根拠に裏付けられた森林浴であり、森を楽しみながら、心と身体の健康維持・増進、病気の予防を行うことを目指して設置されている。栲原町久保谷ロードは栲原町松原に位置し、昔ながらの自然が残され特異な植生に恵まれている。このため、植物、きのこなどの生態とストレスフリーなセラピーロードを併せて体験することにより、森林に触れ、癒やし親しむ心を育成することができた。

なお、この行事は、COVID-19感染拡大が懸念され、多くの行事が中止されている現状のもと、いわゆるウィズコロナとも云われる今後の行事のあり方を率先して実践し、最大限の対策により、最大限に満足できる行事として検討を重ねて実施している。



出発前の説明、留意事項



ロードへの連絡道を進む参加者



水路沿いのセラピーロード



珍しい植物を観察する参加者



集合写真

■観察した植物、菌類

植物

カマツカ、ヒサカキ、アセビ、アラカシ、シリブカガシ、ネズミモチ、フユイチゴ、タラヨウ、サネカズラ、カナメモチ、リョウブ、イヌシデ、ケクロモシ、ナツハゼ、カンサイスノキ、ヤマガキ、コウヤボウキ、シンジソウ、キンミズヒキ、ヤマノイモ、サカキ、コックバネウツギ、エゴノキ、マルバウツギ、コバノガマズミ、サルトリイバラ、ヤブムラサキ、ツルリンドウ、ハイノキ、カシワバハグマ、アブラチャン、ヤブレガサ、ユキモチソウ、ノグルミ、ナンテン、マタタビ、ネムノキ、フアリスズカ、ミツマタ、オオモミジ、ハナイカダ、キバナアキギリ、ヤマウルシ、コバノハナイカダ、アキノチョウジ、コバンノキ、タブノキ、ホソバタブ、リンボク、タカノツメ、シキミ、コメツツジ、ウメガサソウ、ケヤキ、ユズリハ、コナラ、キッコウハグマ、ヤブコウジ、ワジュオ、コチチミザサ、ホオノキ、ヤダケ、ヌスビトハギ、カワラハンノキ、イワタバコ、スギ、ヒノキ、モミ、コウヤマキ、シシガシラ、シャクジョウソウ、ウラジロ、カタヒバ、ゼンマイ、ウラビ

菌類

アイバシロハツ、ハイイロシメジ、ヤギタケ、アワタケ、キツブナラタケ、クギタケ、ニオイコベニタケ、アイタケ、カワラタケ、ツヤウチワタケ

■感染症対策の実施

①留意事項の説明

- ・健康チェック、行事概要、留意事項説明、思慮配布は、乗車前に車外にて実施した。

②バス車内

- ・座席シートは、運転手に説明のうえアルコール噴霧にて消毒を実施した。
- ・走行時は外気循環、前方及び後方の窓を透かし換気に努めた。
- ・乗車中は説明は行わず、参加者同士の会話は最小限にするべく周知した。
- ・マスク着用を徹底した。
- ・参加者には、資料のほかマスク、除菌シート、ニトリル手袋、軍手、ゴミ袋を個別に配布し、接触機会毎に使用する旨を徹底した。

③散策時

- ・セラピーロード散策であることから、下記条件のもと、散策時のマスク着用については、個人の責任とした。
 - ・家族、親友などフィジカルな関係にある参加を除き、参加者毎に2m以上の間隔を保持することとした。
 - ・ガイドは最前列、スタッフは参加者5名毎に配置し、ガイドの説明を後方に伝えるほか、ホワイトボードにマジックで植物名を記載し掲示した。
 - ・ふりかえり、アンケートについては終着地からバスに乗車するまでに車外で実施した。

■対策を実施した感想及び改善点

- ・参加者には意図を十分に理解していただくことができた。
- ・バス車内で音楽を流すなど時間を有効に活用するための検討が必要である。
- ・今回はテストケースとして感染症対策に要する物品を配布したが、単発行事では各自準備するように周知徹底することが難しいため、今後も配布が必要である。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月3日（日）

場 所： 梶原町松原 久保谷セラピーロード

日 程：

6:45	集合
7:00	出発（四国森林管理局駐車場）
9:30～9:40	行事の趣旨、概要注意事項説明
9:40～10:00	森林セラピー紹介
10:00～12:00	久保谷セラピーロード散策
13:00～14:00	チムシルバンレストラン（昼食、休憩）
16:30～17:00	振り返り、アンケート記入回収
17:00	解散（四国森林管理局駐車場）

募集地区： 県内全域 募集対象：一般（1～2km程度の登山が可能な方）

募集方法： 高知県森林インストラクター会ホームページ、FBへの掲載、県内施設等への配布 参加費等： 無料

参加人数： 大人	19名	子供	1名
スタッフ	4名	講師（外部指導者）	2名

○マスコミ等での紹介例（あれば）
なし

○参加者・スタッフの感想

- ・ガイドが2名とスタッフ講師が丁寧に説明してくれたため、十分に堪能することができた。
- ・配布していただいた植物リストが非常に参考になった。
- ・歩きやすかったので景色を良く見ながら散策できた。
- ・一度行って見たかったセラピーロードを楽しむことができた。
- ・もう少しゆっくり行けたらいいなと思った。
- ・様々な植物が見られて良かった。
- ・自然に触れてリフレッシュできた。
- ・樹木や植物の解説が楽しかった。
- ・中山間地域を活性化する取り組みのよい例です。
- ・森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・講師、スタッフの対応が丁寧であった。
- ・感染症対策がきちんとできていてよかった。

活動報告書

番号

8

【団体の概要】

事業名:	～森林インストラクターと行く樹木観察～ 「室戸岬の亜熱帯植物群落とヤッコソウ観察」開催事業
団体名:	高知県森林インストラクター会

【活動の概要】

○ 概要

本県は温暖な気候に恵まれていることもあり、夏から秋にかけては自然に潜む様々な生き物が活発に活動し、カヤアブ、ハチ、ヘビなどの危険が大きいこと、晩秋に見頃を迎える花も多いことから、この時期の森林散策が最適である。また、室戸岬周辺の金剛頂寺には国内でも希少な「ヤッコソウ」が分布しており、11月下旬頃に見ごろを迎えることから11月23日（祝）に開催した。当初24名の申し込みがあったものの、キャンセルが頻発し、当日は18名の参加者で、午前中に室戸岬亜熱帯植物群落の観察を実施しアコウやシオギク、クワズイモなど約50種類の植物を観察するとともに観光ガイドの案内による室戸ジオパークについても解説を受けながら見学した。午後は金剛頂寺の境内周辺に分布するヤッコソウを中心に照葉樹林帯の植生を観察した。なお、観察場所については事前に下見を行い、植物の観察リスト&解説資料を作成し、当日配布することで充実した観察会にすることができた。

なお、この行事は、COVID-19感染拡大が懸念され、多くの行事が中止されている現状のもと、いわゆるウィズコロナとも云われる今後の行事のあり方を率先して実践し、最大限の対策により、最大限に満足できる行事として検討を重ねて実施している。



室戸岬先端の海岸植物観察



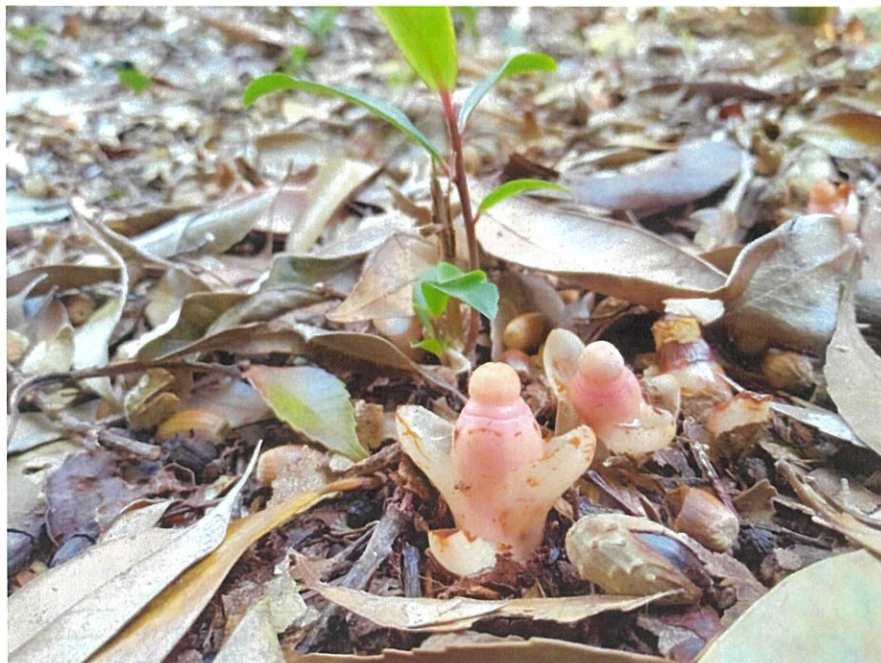
亜熱帯植物のアコウ巨木



金剛頂寺のヤッコソウを観察する参加者



シイの根元に発生したオオワライタケに見入る参加者



見頃のヤッコソウ

■観察した植物等

室戸岬の亜熱帯植物群落とヤッコソウ観察

種類	和名	種類	和名	種類	和名	種類	和名
木本	アオギリ	木本	クロマツ	草本	ツワブキ	木本	ヒメユズリハ
草本	アオノリュウゼツラン	木本	クロバイ	シダ	テツホシダ	木本	マサキ
木本	アカメガシワ	草本	クワズイモ	木本	テリハノイハラ	木本	マルバシャリンバイ
木本	アコウ	タケ	クマザサ	木本	トベラ	木本	ミサオノキ
草本	アゼトウナ	シダ	ケツホシダ	木本	ナワシログミ	木本	ミミズバイ
木本	アリドオシ	草本	シオギク	木本	ネズミモチ	草本	ヤッコソウ
草本	イソギク	木本	シャリンバイ	草本	ハマアザミ	木本	ヤブツバキ
木本	イヌビワ	木本	シロバイ	木本	ハマゴウ	木本	ヤマビワ
木本	イズセンリョウ	木本	スタジイ	草本	ハマナタマメ	きのこ	ツヤウチワタケ
木本	ウバメガシ	木本	タブノキ	草本	ハマナデシコ	きのこ	コフキササルノコシカケ
シダ	ウラシロ	タケ	ダンチク	木本	ハマビワ	きのこ	シイタケ
木本	オオイタビ	木本	ツブラジイ	草本	ハマユウ	きのこ	オオワライタケ
木本	オガタマノキ	草本	ツルソバ	シダ	ヒトツバ	きのこ	ナラタケモドキ

■感染症対策の実施

①留意事項の説明

- ・体温計測、健康チェック、エタノール消毒
- ・行事概要、留意事項説明、資料配布は、車外にて実施

②バス車内

- ・座席シートは、運転手に説明のうえアルコール噴霧にて消毒を実施
- ・走行時は外気循環、前方及び後方の窓を透かし換気
- ・乗車中は説明は行わず、参加者同士の会話は最小限にするべく周知
- ・マスク着用の徹底
- ・参加者には、資料のほかマスク、除菌シート、ニトリル手袋、軍手、ゴミ袋を個別に配布し、接触機会毎に使用する旨を徹底

③散策時

- ・ガイドは最前列、スタッフは参加者5名毎に配置し、ガイドの説明を後方に伝えるほか、ホワイトボードにマジックで植物名を記載し掲示
- ・ふりかえり、アンケートについては終着地からバスに乗車するまでに車外で実施

【プログラム】

実施年月日： 令和3年11月23日（火）

場 所： 室戸岬周辺（亜熱帯植物群落）及び金剛頂寺（ヤッコソウ）

日 程：

7:30 出発（四国森林管理局駐車場）
9:45～10:00 行事の趣旨、概要注意事項説明
10:00～11:30 室戸岬（亜熱帯植物群落の観察）
12:00～13:00 道の駅キラメッセ（昼食、休憩）
13:30～14:30 金剛頂寺（ヤッコソウ及び照葉樹林観察）
16:45～17:00 振り返り、アンケート記入回収
17:00 解散（四国森林管理局駐車場）

募集地区： 県内全域 募集対象：一般（1～2km程度の登山が可能な方）

募集方法： 高知県森林インストラクター会ホームページ、FBへの掲載、県内施設等への配布 参加費等： 無料

参加人数： 大人 18名 子供 0名
スタッフ 4名 講師（外部指導者） 2名

○マスコミ等での紹介例（あれば）
なし

○参加者・スタッフの感想

- ・ガイドが2名とスタッフ講師が丁寧に説明してくれたため、十分に堪能することができた。
- ・配布していただいた植物リストが非常に参考になった。
- ・国内でも希少なヤッコソウの観察と生態の説明が良かった。
- ・亜熱帯植物のアコウやクワズイモ、海岸植生のシオギクやハマナタマメを観察できたところが良かった。
- ・講師、スタッフの対応が丁寧であった。
- ・このような内容の行事は秋を中心に実施されることが多いが、春～初夏に開催していただけるように検討していただきたい。
- ・森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・森林の法律や制限を知ることができた。
- ・自然に触れてリフレッシュできた。
- ・樹木や植物の解説が楽しかった。
- ・森林の役割や自然生態系について学ぶことができた。
- ・感染症対策がきちんとできていてよかった。

活動報告書

番号

9

【団体の概要】

事業名： 夏休みネイチャーゲーム青空教室
 団体名： 甫喜ヶ峰森林公園ネイチャーゲームの会

【活動の概要】

夏休み期間中、木曜市にて自然体験活動(環境教育)プログラムであるネイチャーゲーム並びに木や竹を使ったクラフト教室を実施。(5回の開催を予定していたが、コロナ対応レベルが特別警戒になった8/16以降の活動は中止)
 子ども達へネイチャーゲーム並びに木使い活動を通し、豊かな自然の恵みや自然への発見・不思議や地域文化を学ぶことにより、子どもの持つ慣性を伸ばし、「気づき」「理解」「行動」など「生きる力」を醸成するきっかけ作りを目的とする。
 事前申し込み不要、参加費無料但し緑の募金についてPRする。

【プログラム】

実施年月日:	令和3年7月29日(木)		
場 所:	長岡郡本山町本山 さくら市横広場		
日 程:	9:00~14:00 ・木のペンダントづくり ・竹筒万華鏡づくり ・木の実クラフト ・壁飾りづくり		
募集地区:	高知市、本山町、土佐町	募集対象:	こども・大人
募集方法:	HP、わいわいくじら、チラシ配布	参加費等:	無料
参加人数:	大人 2名	子供	3名
	スタッフ 2名	外部講師	名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想			
<参加者> ・とてもありがたい取り組み。もっと広がってほしい。夏休みの子供に貴重な経験をありがとう。 ・またきたい。など			
<スタッフ> ・影のない場所での実施に、熱中症対策に気を使った。こまめな水分補給、太陽の位置に合わせた日陰対策など ・最初はそんなに興味がない子供も、次第に夢中になり、それぞれ個性的な作品が出来た。			

実施年月日:	令和3年8月5日(木)		
場 所:	長岡郡本山町本山 さくら市横広場		
日 程:	9:00~14:00 ・木のペンダントづくり ・竹筒万華鏡づくり ・木の実クラフト ・壁飾りづくり		

募集地区:	高知市、本山町、土佐町	募集対象:	こども・大人
募集方法:	HP、わいわいくじら、チラシ配布	参加費等:	無料
参加人数:	大人 4名 スタッフ 3名	子供 15名 外部講師 名	
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想 <参加者> ・またこういう機会があればぜひ参加したい。情報を知るツールも知りたい。 ・外でするイベントで暑かったですが、楽しかった。 <スタッフ> ・お天気が良く暑かったですが、多くの方に参加頂けました。地域の活性化にもつながった。 ・地域の方にもお声かけいただけ、他の土庸市などにも来てほしいなど要望もあった。			

実施年月日:	令和3年8月12日(木)		
場 所:	長岡郡本山町本山 さくら市横施設		
日 程:	9:00~14:00 ・木のペンダントづくり ・竹筒万華鏡づくり ・木の実クラフト ・壁飾りづくり		
募集地区:	高知市、本山町、土佐町	募集対象:	こども・大人
募集方法:	HP、わいわいくじら、チラシ配布	参加費等:	無料
参加人数:	大人 3名 スタッフ 3名	子供 2名 外部講師 名	
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想 <参加者> ・いろいろな自然物を使ってゆっくり時間をかけて作る事が出来て良かった。やすりをかけたりするのも子どもにとって初めての体験で良かった。 <スタッフ> ・雨の中での実施となり、施設を借りて実施しましたが、案内が不十分だったと思っています。 ・参加者にはゆっくりと様々な体験をしていただけました。			

【団体の概要】

事業名： 林鉄時代の林業技術を当時の杣が見せる 伐木見学&体験in 北川村木積
 団体名： 中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会

【活動の概要】

【目的】魚梁瀬森林鉄道が走り、チェーンソー導入前（昭和30年代半ば）に活躍した伐木方法を、当時活躍した伐木手（杣）が大木を伐り、先人の知恵と技術を伝承することで、北川村や中芸地区での林業と生活の歴史、そして現在の森林の現状について、理解を深めてもらうことを目的とする。また、見学・体験することで県内の森林について考え、行動してもらうきっかけ作りとする。

【プログラム】

実施年月日：	令和3年9月26日（日）9:30～15:30		
場 所：	安芸郡北川村字木積大字川島北路384番地 矢田光央所有山林		
日 程：	9:30	集合（旧木積小学校）	徒歩移動（5分、約400m）
	9:45	伐木山の現地着・開会式	
	10:00	元杣の指導のもと、立木の大径木を杣鋸で切る体験・解説あり 林業の仕事のお話など	
時間変更	12:30	お昼休憩（現地/トイレは旧木積小学校）地元お母さんたちお手製の弁当 堀田幸生さんによる木工作り	
時間変更	13:30	作業再開！切り倒したスギの「樹高と年輪当てクイズ」 ニッケイの枝切り・根掘り体験	
	15:00	クイズ当選発表・閉会の挨拶・解散	
募集地区：	高知県内	募集対象：	子どもから大人、親子
募集方法：	チラシ配布、当会Facebook、	参加費等：	大人2,000円／子ども（5～18歳）1,000円
参加人数：	大人 16名	子供	7名
	スタッフ 17名	外部講師	2名
○マスコミ等での紹介例（あれば）			
①高知新聞9月27日（月）付地方面 ②NHK高知放送局「こうちいちばん」（令和3年10月4日18時放送）			
③テレビ高知「がんばれ高知eco応援団」（令和3年10月24日11時放送）			
○感想			
<参加者>			
大きな鋸を使って、実際に伐採作業を体験できたことが嬉しかった。			
昔の杣の仕事を知る貴重な機会でした。			
歴史をつないでいくというのは大切にしたい。			
その他、別紙「アンケート結果」記載			
<スタッフ>			
【良かった点】			
①子どもと親が一生懸命に伐る姿が見え、「林業技術の継承」の目標に近づけた。			
②北川村や中芸の林業・観光などが協力し合い、同様の事業ができると前向きになった。			
③魚梁瀬森林鉄道時代の産業や歴史が伝わったと思う。			

活動報告書

番号
11

【団体の概要】

事業名： チノモノ・ヨソモノ実践ミーティング～MAKIWARI&KUSAKARI～
 団体名： 高知県青年団協議会

【活動の概要】

地域に暮らす若者が山や森に関心を持つのを促すとともに、県内農山村への移住者が地域に溶け込むきっかけをつくり、青年世代を地域環境の守り手としての育成に繋げることを目的として、県内の農山村地域にとって身近な里山との関わりについて学び、更には草刈りや薪割りの実践を通し、地元青年と移住者で活発な交流を行った。
 各地の実践内容の報告と、実際に草刈りや薪割りの体験や、移動サウナなどの応用事例の体験をし、2日目にその活用例についてワークショップで話し合った。撮影した動画は、地域活性化のシンポジウム等に出す事例報告や全国の青年団に対しての活動発表、これから青年団が行う山の事業で普及啓発として活用し、今後も継続的な取り組みにしていきたいと考える。

【プログラム】

実施年月日：	令和3年11月6日(土)		
場 所：	西土佐青年の家(四万十市西土佐用井)、四万十川		
日 程：	1日目 13:00 オープニング 13:30 座学 「高知家で暮らす」(講師:三原村青年団) 「自伐型林業の魅力と可能性」(講師:宮崎聖氏) 15:30 草刈り・薪割り講習会 サウナ体験@四万十川 17:00 エンディング 18:00 交流(BBQ)		
募集地区：	高知県	募集対象：	高知県内の地域青年
募集方法：	チラシ・HP・動画	参加費等：	無料(交流会参加は2,000円)
参加人数：	大人 19名 スタッフ 2名	子供	1名 外部講師 4名

実施年月日：	令和3年11月7日(日)		
場 所：	西土佐青年の家(四万十市西土佐用井)		
日 程：	2日目 9:00 ワークショップこれからの活動について(講師:西土佐青年団) 12:00 終了		
募集地区：	高知県	募集対象：	高知県内の地域青年
募集方法：	チラシ・HP・動画	参加費等：	無料
参加人数：	大人 6名 スタッフ 2名	子供	0名 外部講師 1名

○感想

<参加者>めったにできない体験ができてよかった。
 いま取り組んでいることとフィットして参考になった。
 <スタッフ>青年団の活動として、草刈りに続いて継続的な取り組みにしていけそうに思った。

活動報告書

番号

12

【団体の概要】

事業名： 令和3年度ヤイロチョウの日記念イベント
 団体名： 公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

2021年8月15日～16日の2日間、こうち山の推進事業費の助成金をいただき、当協会が15年間継続開催している『ヤイロチョウの日記念イベント』が開催されました。

1日目は、高知県立牧野植物園研究調査員の鴻上泰講師と、高知市立わんぱくこうちアニマルランド学芸員の吉川貴臣講師による『ヤイロチョウの森の動植物ガイドツアー』を行いました。ただ、ここ数日降り続いた大雨の影響で道路上に落石や道路崩壊箇所が見つかったため、開催場所をネイチャーセンターから15キロ離れた下道地区にあるトラストの森から変更し、1.5キロと近い熊野神社の森に変更しました。

熊野神社では、鴻上講師から潜在植生のシイ・カシなどの植物について、吉川講師からは貝の仲間について解説していただきました。ネイチャーセンターに戻って、最近の外来種の問題などについて説明を受けた後、参加者からの質問に答えていただきました。

2日目は、『ヤイロチョウと森を語るトークショー』です。世界のヤイロチョウの写真家で大阪在住の松村伸夫講師と、窪川町出身で植物や歴史に詳しい池田十三生講師から興味深いお話を伺いました。また、参加された昨日の講師の吉川貴臣さんにもコメントをしていただきました。最後に参加者で今年1月29日誕生という本名山下やいろちゃんのご両親(音楽ユニット・サンドイッチパーラー)さんに、サプライズで『ヤイロチョウの歌』を歌っていただきヤイロチョウの日記念イベントは楽しく終わりました。

生憎の大雨と、コロナウィルス感染拡大の影響で、会場のネイチャーセンターに集まった参加者は少なかったですが、この2日間のイベントの様子は、GooglemeetやYouTubeなどのオンラインでライブ配信されました。

【プログラム】

実施年月日：	令和3年8月15日(日)		
場 所：	四万十町大正地区の熊野神社 & 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター		
日 程：	(オンラインでも参加できる)「ヤイロチョウの森の動植物ガイドツアー」 9時30分にネイチャーセンター集合後、30分間オンラインで行程説明、講師、森と緑の会の水田さん、参加者さんらが自己紹介をしたのち10時頃、自家用車で熊野神社へ移動。 10時15分～10時55分 鴻上泰講師により、熊野神社の植物について解説があった。 熊野神社からもスマホを使ってYouTubeによるライブ配信が行われた。 11時～12時 吉川貴臣講師により、ネイチャーセンターの剥製室で剥製を見ながら動物や野鳥の解説が行われた。 センターへ帰ってからライブ配信は続けて行われた。詳しくは当協会のホームページのYouTubeチャンネルより、両日のイベントの様子が閲覧できる。		
募集地区：	高知県はもとより、全国区	募集対象：	高知県を中心にした親子
募集方法：	高知市、四万十町の小学校、通信に力を入れている学校を中心に配布、その他は、当協会の会員にもチラシを郵送した。 関係者にもSNS(当協会のフェイスブック、ホームページ、イベント情報、ライン)などで告知し、周知を計った。	参加費等：	無料
参加人数：	大人 13名	子供	3名
	スタッフ 5名	外部講師	1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
四万十町のケーブルテレビ			

実施年月日：	令和3年8月16日(月)		
場 所：	四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター		
日 程：			

(オンラインでも参加できる)「ヤイロチョウと森を語るトークショー」

12時50分 ネイチャーセンター集合

13時～15時「ヤイロチョウと森を語るトークショー」

15時 ネイチャーセンターで解散

「世界のヤイロチョウの森」について松村伸夫講師が担当し、「高知県のヤイロチョウの森」については、池田十三講師が務め、それぞれの特徴や魅力について語っていただき、YouTubeでのライブ配信を通し閲覧中の参加者の皆様にも、理解を深めていただいた。

募集地区： 高知県はもとより、全国区

募集対象： 高知県を中心にした親子

募集方法： 高知市、四万十町の小学校、通信に力を入れている学校を中心に配布、その他は、当協会の会員にもチラシを郵送した。
関係者にもSNS(当協会のフェイスブック、ホームページ、イベント情報、ライン)などで告知し、周知を計った。

参加費等： 無料

参加人数： 大人 12名

子供 1名

スタッフ 3名

外部講師 名

〇マスコミ等での紹介例(あれば)

〇感想

<参加者>

・高知県の山を守るための活動や在来種を守るための活動を知ることができ、大変勉強になりました。私は現在、環境保全、野生動物保護等についてを学ぶため学校に通っており、思いがけず今回のガイドツアーで貴重なお話を伺え、学びが深まりました。

・植物の学習はとても面白かった。けれど、ヤイロチョウに関してもっと学習したかった。

・植物と動物(虫)の関係性など楽しく学べました。次の機会があれば、また是非参加したいです。つぎはもっと長い時間勉強できたら良いなと思いました。

・トークショーのライブ配信、参加したいけれど現地に行けない、という方に伝えるにはほんとうによい方法だと思います。

・東南アジアに生息する数々のヤイロチョウの写真と鳴き声を聞くという貴重な経験ができました。併せて、彼らを取りまく環境破壊が日本の食卓とつながっていることに驚きました。

また、対談では課題とともに、次世代を巻き込んだ今後の取組の紹介もあり、熱心な活動に感銘したところ

です。
・オンライン実況中継はドキュメント番組のようで臨場感があり面白かったです。紹介していただいた樹木のうち、特にイチイガシ、イスノキ、カゴノキ、カナクギノキ、ツブラジイについては関東で見ることができない、あるいは見る機会がほとんどないので、興味深く拝見しました。また常緑樹が多いとも感じました。

・和気あいあいとした良い会でした。

・目の前にまだ見ぬヤイロチョウを感じさせていただきました。高知と東京、今は遠い遠い場所ですが、行ける時が来たら大手を振ってヤイロチョウに会いに行きます。

<スタッフ>

今回はオンラインでの参加やYouTubeでのライブ配信を駆使しコロナや悪天候で来られない方、また遠方の方でも気軽に参加いただけるよう工夫をしてみた。通信の専門的な知識が必要とされる中、外部スタッフの協力により難問をクリアできたのが大きかった。新しい取り組みのため、通信関係の技術を習得することも目標に掲げ、外部の力を借りながら電子媒体を参加者の皆様に使っていただけることが定着していけば、参加者の人数も増え、高知県の環境や、自然保護についても理解を深めてもらえるものと期待している。

活動報告書

番号

13

【団体の概要】

事業名: Trail Jamboree in 甫喜ヶ峰 2021
 団体名: 甫喜ヶ峰トレイルランニング実行委員会

【活動の概要】

○園内に10^キ、リレー、キッズコースを設定し走ってもらうことで、高知の森林や自然に触れてもらう機会を提供した。
 ○昼食は一昨年同様地元婦人会の手作り弁当で、高知県産の食材を使用してもらい、高知の農林漁業に関心を持ってもらえるようにした。
 ○クラフトコーナーも一昨年同様地元の方に準備いただき、木や自然物に興味を持ってもらう機会を提供した。また、地元企業出店ブースも一つだが設置し、コロナ禍で大変な事業体の応援にも協力した。

【プログラム】

実施年月日: 令和3年12月5日(日)			
場 所: 県立甫喜ヶ峰森林公園内			
日 程:			
8:00 受付開始	11:55 キッズA-2スタート	15:25 閉会式	
8:45 開会式	12:15 キッズBスタート	15:30 片付け	
9:00 10kmコーススタート	12:20 キッズ表彰式		
11:30 10kmコース表彰式	12:35 リレーコーススタート		
11:35 キッズA-1スタート	15:20 リレーコース表彰式		
募集地区: 高知県内(但し、県外参加者も受け入れ)	募集対象:	18歳以上(但し保護者の同意があれば中高生可)、小学生、未就学児	
募集方法: ホームページ、Facebook、チラシ配布	参加費等:	10km:4,000円、リレー:4,000円(1チーム4名)、キッズ小学生:1,000円、キッズ未就学児:500円	
参加人数: 大人 177名	子供 55名		
スタッフ 36名	外部講師 3名		
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想			
<参加者> ・温かい雰囲気を楽しみな大会。今年はあるて良かった。 ・お弁当がおいしかった。			
<スタッフ> ・昨年は中止になったが、今年はできて良かった。 ・たくさん参加してくれて良かった。			

活動報告書

番号

14

【団体の概要】

事業名: 森あそび
 団体名: 一般社団法人 高知県山林協会

【活動の概要】

森のようちえんの甫喜ヶ峰森林公園版として実施。森の楽しみ方をスタッフと一緒に体験してもらい、森林や自然の大切さを感じてもらった。森の中で遊ぶ方法を考え、遊び方を生み出し、思う存分遊んでもらった。

【プログラム】

実施年月日: 令和3年9月19日(日)			
場 所: 県立甫喜ヶ峰森林公園			
日 程:			
10:00 集合 あいさつ・注意事項等説明			
10:05 ○ジップラインづくり、ジップライン遊び(1基、展示館横に5月に参加者で整備した箇所)			
11:00 ○遊び場整備			
12:00 昼食、休憩			
13:00 ○竈づくり、おやつづくり(バナナ&チョコ、マツボックリケーキ)			
13:30 ○魚釣り			
14:00 あいさつ、終了			
募集地区:	高知県内	募集対象:	小学4年生までの子どもと家族
募集方法:	チラシ、HP、FB、IG	参加費等:	300円/人(2歳以下無料)
参加人数:	大人 9名	子供	11名
	スタッフ 4名	外部講師	0名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想			
<参加者> ・いつもおもいきり遊ばせてくださりありがとうございます ・次回は冬なので、また火起こしをしてバウムクーヘン作りなどをやってみたい ・ブランコと滑り台が欲しい <スタッフ> ・作業が多すぎるので、もう少し楽しむプログラムを入れよう			

実施年月日: 令和3年12月19日(日)			
場 所: 県立甫喜ヶ峰森林公園			
日 程:			
10:00 集合 あいさつ・注意事項等説明			
10:05 ○火起こし(舞ざり式火起こし器、ファイアースターター)、ドラム缶風呂沸かし			
10:30 ○バウムクーヘン作り			
○フユイチゴ摘みと森へ冒険、ジャム作り			
○ジップライン遊び			
12:00 昼食、休憩			
13:00 ○ジップライン遊び、魚釣り、ドラム缶風呂time			
14:00 あいさつ、終了			
募集地区:	高知県内	募集対象:	小学4年生までの子どもと家族
募集方法:	チラシ、HP、FB、IG	参加費等:	300円/人(2歳以下無料)

参加人数： 大人	12名	子供	15名
スタッフ	4名	外部講師	0名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想			
<p><参加者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回、すごく楽しく遊べる企画をありがとうございます。 ・下草、木の切株が少し高くて小さい子どもには危険だと思う ・ドラム缶風呂、子どもたちが大喜びで最高でした ・バウムクーヘンおいしくできて楽しかったです ・ドラム缶風呂、バウムクーヘンなど森の中で楽しい一日だった ・普段は経験できないことばかりで、子どもだけでなく大人もワクワクだった ・とても楽しくスタッフも親切でのんびり過ごせた。ありがとう。 <p><スタッフ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・切株については、もう少しスタッフが手を入れよう ・まだまだ、森で楽しむことを考えないと ・スタッフは保護者と協力して、安全面には最大限配慮しなければならない 			

活動報告書

番 号

15

【団体の概要】

事業名： 甫喜ヶ峰フェスティバル2021
 団体名： 一般社団法人 高知県山林協会

【活動の概要】

公園内に森林や木に関するコーナー等を地元、関係団体、ボランティア団体等に設置してもらい、街の人に森林や自然に興味を持ってもらう

【プログラム】

実施年月日： 令和3年11月14日(日)	
場 所： 高知県立甫喜ヶ峰森林公園	
日 程： 10:00 開始 ペットボトルの風車作り、発電用風車見学、スズメバチの標本作り、ネイチャーゲーム体験 紙でクラフト作り、モルック体験、スラックライン体験、絵本の読み聞かせ、森のミニ図書館 木エクラフト作り などの体験コーナーのほか、音楽会、軽食販売（出店協力:15団体） 14:00 終了	
募集地区： 高知県下全域	募集対象： どなたでも
募集方法： 学校中心にチラシ配布、ホームページ掲載、Facebook・Instagram・Twitter掲載、出店団体によるSNSでの広報活動	参加費等： 各ブースにて支払い
参加人数： 大人 約800名 スタッフ 6名	子供 約500名 外部講師 1名
○マスコミ等での紹介例(あれば)	
○感想 <参加者> ・学校からのチラシで初めて来たがいい公園で、楽しいイベントだった。 ・コロナを考えてだと思いが、出店場所が離れてわかりずらかった。 <スタッフ> コロナ禍でこそ実施して良かった。	

活動報告書

番号

16

【団体の概要】

事業名: Foresting Workshop Vol.5 ~ みんなが集まる折りたたみ式屋台づくり
 団体名: サンゴと森の救援隊

【活動の概要】

山仕事の内容や取り組みの理念を紹介しながら、今回使用するヒノキの伐採を映像で紹介し、あらかじめ切り出し・製材した木材を使って「折りたたみ式屋台」を作成する。大工さんからカンナがけと組み立て方を習いながら、仕上げていく。また、カンナがけで出来たヒノキの削りかすを使ってサシェを作る。作成した屋台は新しくできた水族館に寄贈し、マルシェで活用していただく。

【プログラム】

実施年月日: 令和3年11月13日(土)			
場 所: 土佐清水市			
日 程:			
9:00 集合、主催者挨拶・趣旨説明			
9:15 伝統技術を体験～大工さんからカンナがけを習う			
11:30 昼食&交流会			
13:00 折りたたみ式屋台の組み立て・サシェづくり			
15:30 アンケート記入、集合写真撮影			
16:00 閉会、解散			
募集地区:	高知県内	募集対象:	高知県在住者
募集方法:	チラシ、SNS、声かけ	参加費等:	500円(昼食代)
参加人数:	大人 21名	子供	6名
	スタッフ 6名	外部講師	2名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
なし			
○感想			
〈参加者〉			
<ul style="list-style-type: none"> ・とても楽しい1日でした。 ・自分で伐った木を市場に出荷するだけでなく、製材して実際に使えるモノ作りをしたかったので、今日は大変勉強になった。たくさんの方が興味を持っておられることを知れて良かったです。 ・できるだけ自給自足の生活をしたいと思っています。今、心理士の勉強をしていて、子供たちと自然の中でふれあう施設を作りたいと思っています。 ・料金設定を上げて良いので、出来たものを持ち帰りたいです。 ・大工一筋75年の大ベテランにカンナがけを習えたのは感動です。 			
〈スタッフ〉			
<ul style="list-style-type: none"> ・設備が整った施設で行うと、時間配分、参加者への目配り・気配りがしやすく、安全面も確保しやすい。今後も木を活用し、地域とタイアップ出来る啓発プログラムを行っていきたい。 ・山の中で活動するプログラムもしたいけど、木工とは別にやった方が時間的に良い。 			

活動報告書

番号

17

【団体の概要】

事業名： 大月の製炭学習と里山への植栽活動
 団体名： 大月町備長炭生産組合

【活動の概要】

山の資源に対する感謝の念を植栽という形で示し、関係する方々や地元住民、学生らにもこの取り組みに参加していただくことで、地域内外の交流促進や、持続可能な資源や産業を目指すことの意識を高めていただく。

国有林にウバメガシの苗木200本の植栽や、製炭体験、ウォーキングやどんぐりの収穫体験、拾ったどんぐりで苗づくりを行った。今回植栽した苗木は今後国と組合で管理してその成長を見守り、作ったどんぐりの苗は3～4年かけ畑で育て山にかえすようにしていきたい。

近年苗木づくりに対しては、県が研究課題(森林技術センター)として、町は町の事業として、町有林に再造林計画を立てる等、組合が長年積み重ねてきた活動に関係機関の動きが加わってきた。

また、毎年環境省の職員から参加者に山やウバメガシのお話をいただいている。特に参加者に高校生が多いことから、学校では教えていただけない内容でとても貴重な場になっているのではないかと思います。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年11月13日(土)			
場 所： 大月町内の山林と炭窯			
日 程：			
9:00～ 開会			
9:30～ 山林へ移動(バス)			
10:00～ ウォーキング(どんぐり拾いを兼ねる)			
10:30～ 植栽			
12:30～ 炭窯へ移動(バス)			
13:00～ 昼食			
14:00～ 備長炭づくり体験			
14:30～ 苗木づくり			
16:00～ 閉会、解散			
募集地区：	高知県内	募集対象：	県内の小中高生、県民
募集方法：	町内各戸へのチラシの配布等	参加費等：	小学生500円、中学生以上1,000円
参加人数：	大人 21名	子供	名
	スタッフ 23名	外部講師	名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想			
＜参加者＞			
BBQが楽しみで参加しましたが、山を大事にして将来に繋げる取り組みに参加できて良かったです。			
＜スタッフ＞			
国・県・町と組合の連携による事業が将来の山づくりのみならず、高校生の教育の場となっていることが大変意義のあるものだと思います。			

活動報告書

番号

18

【団体の概要】

事業名: 森に触れてと出会いづくりと思い出づくり
 団体名: 特定非営利活動法人 四万川龍神の里

【活動の概要】

- ・活動拠点に通じるアクセス道路の整備・草刈りを参加者で行い、恵まれた自然環境を背景により良い交流の場を提供する。
- ・木製モニュメントの作成や、森の恵みを利用したハンドメイドアクセサリーづくり体験
- ・草刈りと丸太の椅子づくり
- ・共同作成したモニュメントを除幕し周辺で物語の朗読、こども和太鼓公演、雑木林ツアーを実施した。

【プログラム】

実施年月日:	令和3年7月25日(日)		
場 所:	梶原町中ノ川		
日 程:	9:00～	作業 男性	草刈り
		女性	田舎料理調理
	12:00～	昼食	歓談
	13:00～	男女共同で	草刈り、草引き
	14:00～	解散	
募集地区:	地域住民(県外者OK)	募集対象:	20～40歳の若者
募集方法:	チラシ	参加費等:	1,000円
参加人数:	大人 6名	子供	名
	スタッフ 9名	外部講師	名
○マスコミ等での紹介例(あれば)			
○感想			
<参加者>			
田舎料理を作るのがすごく勉強になりました。			
草刈りは、皆とすると楽しかった。			
<スタッフ>			
イベントを2箇所に分けましたが、1箇所で一緒にすれば、もっと交流が出来たように思います。			

実施年月日:	令和3年10月3日(日)		
場 所:	梶原町中ノ川		
日 程:	10:00～	集合・日程説明	
	10:30～	モニュメント組み立て・ペンキ塗り	
		ネイチャーゲーム	
	12:00～	昼食	
	13:00～	森の恵みでハンドメイド(竹の万華鏡・木のペンダント)	
	14:30	終了	
募集地区:	地域住民(県外者OK)	募集対象:	20～40歳の若者
募集方法:	チラシ	参加費等:	1,000円
参加人数:	大人 5名	子供	1名
	スタッフ 8名	外部講師	2名

<p>○マスコミ等での紹介例(あれば)</p> <p>がんばれ高知eco応援団の取材(10/31放送)</p>
<p>○感想</p> <p><参加者> ネイチャーゲームが、とても楽しかった。 万華鏡も綺麗に出来て嬉しかったです。又、機会があれば参加したい。 ペンキ塗りも初めてでしたが、教えてもらい楽しかった。</p> <p><スタッフ> 忙しかったけど、待望のモニュメントが出来て、これを目印に継続的に皆で集えそうで嬉しいです。</p>

実施年月日: 令和3年10月30日(土)	
場 所: 梶原町中ノ川	
日 程:	9:00～ 草刈り(協力 サクセス工業) 草引き 12:00～ 昼食 13:00～ 椅子作りペンキ塗り 14:00～ 終了
募集地区:	地域住民(県外者OK)
募集対象:	20～40歳の若者
募集方法:	チラシ
参加費等:	
参加人数: 大人	8 名
子供	名
スタッフ	4 名
外部講師	名
○マスコミ等での紹介例(あれば)	
○感想	
<p><スタッフ> お手伝いもあり、大変有り難かったです。 次のモニュメントお披露目に向けて、周辺整備や椅子作りのやり残しなど出来て良かったです。</p>	

実施年月日: 令和3年11月14日(日)	
場 所: 梶原町中ノ川	
日 程:	11:00～ モニュメント除幕式 11:30～ おとね物語 公演 石丸吉一氏 13:00～ こども和太鼓 ししまる太鼓・太鼓の作り方 お話 中越洋子氏 雅楽公演 埋田恵氏 14:00～ 雑木林ツアー 15:00～ 餅投げ、閉会
募集地区:	地域住民(県外者OK)
募集対象:	20～40歳の若者
募集方法:	チラシ
参加費等:	昼食代350円
参加人数: 大人	21 名
子供	16 名
スタッフ	8 名
外部講師	3 名
○マスコミ等での紹介例(あれば)	
○感想	
<p><参加者> おとね物語を聞いて、おとねの森にした意味がよくわかりました。</p> <p><スタッフ> イベントをテレビで取り上げてもらった為か、参加者が多くて良かった。 やりがいを感じました。</p>	

【団体の概要】

事業名： 御在所山のふもと未来プロジェクト

団体名： 梅久保昔の青年団

【活動の概要】

香美市香北町の御在所山のふもと地域において、森林資源と「水」にスポットをあて、それらの持続と活用について具体的に話し合い、今後の活動や取り組みを考えた。また、1回目は「大荒の滝」を散策して野草植物の観察や、植林、植樹を見学。2回目は紅葉祭の時期に木馬茶屋の開店に合わせてトークセッションを開き、この地域の資源と課題について考え、今後の展開をイメージする場とした。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月23日(土)

場 所： 香北町梅久保公会堂、大荒の滝

日 程：

○1回目 10月23日(土)9:30～15:30

9:30～受付 → 10:00～12:00 主催者がこれまでの地域の取り組み説明。森林管理署、森林組合がこの地域の森林資源と取り組みを説明 → 講師や参加者でそれらについて意見交換。

12:00～12:40 地元の素材の昼食 → 12:30～14:20 大荒の滝ガイドウォーキング → 14:30～15:30 振り返りと第2回目に向けて取り組みを考える → アンケート記入後解散

※撮影した動画は編集してDVDを作成し、今後の地域学習や取り組み紹介で活用する。

募集地区： 高知県下

募集対象： 御在所山のふもと集落関係者、香北町の小中学生、高知県下の地域活動関係者

募集方法： チラシ、SNS、香美市広報、高知新聞

参加費等： 1000円

参加人数： 大人 18名

子供 2名

スタッフ 10名

外部講師 1名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

高知新聞

実施年月日： 令和3年11月23日(火・祝)

場 所： 香北町大屋敷 木馬茶屋

日 程：

○第2回目 11月23日(火)9:30～受付 → 10:00～12:00 森林保全活動のパネル展示とトークセッション。主催者、森林組合、森林管理局職員、谷川講師、参加者でトークセッション → アンケート記入後解散

テーマ：滝、森林資源を活用してどう展開するか。参加者みんなで「ふもと」をどうプロデュースするか等を考えた。

※撮影した動画は編集してDVDを作成し、今後の地域学習や取り組み紹介で活用する。

募集地区： 高知県下

募集対象： 御在所山のふもと集落関係者、香北町の小中学生、高知県下の地域活動関係者

募集方法： チラシ、SNS、香美市広報、高知新聞

参加費等： 500円

参加人数： 大人 18名

子供 名

スタッフ 10名

外部講師 1名

○マスコミ等での紹介例(あれば)

○感想

<参加者> 森林のことや、高知県の現在の状況を知れた。森だけでなく水のことでも知れてよかった。この地域を持続させるためには森林だけでなく観光の面でも盛り上げたい。コミュニティーを広げ、繋がりを増やす。

<スタッフ> 今回の2回の取り組みを通じ、様々な人との接点があったように思います。今後、点である人と人を結んで線を作り、線と線をつないで面を作り、面と面を形作って御在所山をパッケージできる立体ができれば、梅久保の活性化や関係人口の増加につながる希望が見えたのではないかと。

活動報告書

【団体の概要】

事業名： 森林環境とアサギマダラ
団体名： 大月森づくり会

【活動の概要】

大月町の多様な広葉樹林（雑木林）について学ぶ為に、樹木の名前と共に、人や他の生き物にどのように利用されているかなど、様々な角度から広葉樹のことを学びます。
大月町には、旅する蝶、アサギマダラが集中して飛来します。大月町の多様な広葉樹林及び、アサギマダラを通じて森林の環境保全について学びます。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月23日（土）

場 所： 幡多郡大月町弘見

日 程：

8月 詳細内容検討、チラシ案作成、大月町後援依頼

9月 チラシデザイン依頼、チラシ印刷、大月町内全戸にチラシ配布、ネット等で告知

10月23日 広葉樹学習会開催 講師 石川慎吾先生

10：00 集合、学習方法説明

10：20 歩いて里山を巡りながら学習場所へ移動

11：00 広葉樹の名前等を学習

12：00 休憩

13：00 午前に引き続き広葉樹の名前等を学習、質疑応答

14：30 大月町役場に戻り、解散

11月 学習樹木メモ一覧を作成、樹木ネームプレート作成依頼

12月 樹木ネームプレート完成、学習した樹木に取付、学習樹木メモ一覧を参加者に配布

募集地区： 高知県内

募集対象： 一般

募集方法： ネットでの告知、大月町内チラシ配布

参加費等： 無料

参加人数： 大人

9名

子供

0名

スタッフ

4名

外部講師

1名

○マスコミ等での紹介例（あれば）

○感想

<参加者>

大変良かった。又参加したいです。

<スタッフ>

多種の広葉樹を石川先生に詳しく教えていただきました。参加者に好評でした。

実施年月日： 令和3年11月14日（日）	
場 所： 幡多郡大月町西泊→柏島大堂海岸展望台等	
日 程：	
9月 詳細内容検討、チラシ案作成、大月町後援依頼	
10月 チラシデザイン依頼、チラシ印刷、大月町内全戸にチラシ配布、ネット等で告知	
11月14日 “旅する蝶、アサギマダラ学習会”開催 土田章雄さん講師	
10：30 集合、概要説明	
10：40 アサギマダラの生態と森林環境の関係を考察	
12：00 休憩	
13：00 観察場所に移動しアサギマダラと訪花植物等を観察	
14：30 現地解散	
12月 学習内容を参加者に配布	
募集地区： 高知県内	募集対象： 一般
募集方法： ネットでの告知、大月町内チラシ配布	参加費等： 無料
参加人数： 大人 14名	子供 2名
スタッフ 3名	外部講師 1名
○マスコミ等での紹介例（あれば）	
○感想	
<参加者>	
大変おもしろかったです。とても勉強になりました。楽しかったです。	
<スタッフ>	
森林とアサギマダラの関係について講師の土田さんに詳しく教えていただきました。参加者に好評でした。	

活動報告書

番号

21

【団体の概要】

事業名： 匠にまなぶ高知の森・木工ワークショップ/大月町
 団体名： 高知工科大学 Wavert

【活動の概要】

過疎化集落(人口10名程度)の住民等が憩う場づくりを行うため、大工や建築家からレクチャーしてもらいながら木工製作を行うワークショップを開催する。
 木工ワークショップ①テーブル2台、ベンチ2台、ひじ掛けチェア2脚の制作
 木工ワークショップ②建具の製作(現地集落の交流拠点となる古民家の出入り口扉の制作)
 製作した木工品は集落の古民家に設置し、地域住民やお遍路さんらの休憩所として利用してもらう。

【プログラム】

実施年月日： 令和3年10月30日(土)			
場 所： 安田建具店(高知県幡多郡大月町弘見3961)			
日 程： 木工ワークショップ①1日目 13時～18時：家具の部材加工作業 ・ノコ・榫・かな・ノミ・やすり等を使い、「ほぞ」および「ほぞ穴」づくり			
募集地区：	高知県内	募集対象：	建築系の大学生や高校生
募集方法：	口コミ(コロナ禍により告知縮小)	参加費等：	なし
参加人数： 大人	3名	子供	5名
スタッフ	3名	外部講師	2名
実施年月日： 令和3年10月31日(日)			
場 所： 大月町赤泊地区			
日 程： 木工ワークショップ①2日目 8時～16時：家具部材の組み立て作業および設置 ・家具パーツの微修正作業 ・組立て、配置			
募集地区：	高知県内	募集対象：	建築系の大学生や高校生
募集方法：	口コミ(コロナ禍により告知縮小)	参加費等：	なし
参加人数： 大人	4名	子供	5名
スタッフ	3名	外部講師	2名
○マスコミ等での紹介例(あれば) 高知放送「おはよう高知」取材			
○感想 <参加者> ・木という自然素材に触れ、微妙な加工の調整など職人技の面白さや奥深さに触れられて楽しかった。 ・大学では学べないことを職人さんや建築家さんから教わる、意義深い機会になった。 <スタッフ> ・学生たちが知らない世界(木の性質・加工技術・設計方法等)を、直に学び積極的に関われる機会にするため、講師との綿密な打ち合わせを経て開催し、良い機会となった。			

実施年月日: 令和3年12月25日(土)	
場 所: 安田建具店(高知県幡多郡大月町弘見3961)および大月町赤泊地区	
日 程: 木工ワークショップ② 10時~14時: 建具部材の加工および組み立て作業/安田建具店(高知県幡多郡大月町弘見3961) ・扉の木材パーツの製作 ・ガラスの寸法合わせ ・金具の取り付け 15時~17時: 建具の取り付け作業/(大月町赤泊地区)	
募集地区:	高知県内
募集対象:	建築系の大学生や高校生
募集方法:	口コミ(コロナ禍により告知縮小)
参加費等:	なし
参加人数: 大人	1名
子供	5名
スタッフ	1名
外部講師	2名
○マスコミ等での紹介例(あれば) 高知新聞取材	
○感想 <参加者> ・記念品のようなモノづくりではなく、実際の建物に設置する建具づくりに関わることができてよかった。 ・過疎集落にある建物に建具(扉)が入ったことで、地域の活性化に少し貢献できるような気がした。 <スタッフ> ・ワークショップ開催を通じ、職人・建築家の技術をまなぶ機会になったこと、参加者に集落現状の一端を伝えられたことが大きな成果になった。	

活動報告書

番号

22

【団体の概要】

事業名: ヤイロチョウのさえずる森を未来に！写真・動画・作文コンクール
 団体名: 公益社団法人生態系トラスト協会

【活動の概要】

2021年10月10日(日)～2022年1月29日(土)の4日間、こうち山の日推進事業費の助成金をいただき、『3回の学習会』も兼ねて「写真・動画・作文コンクール」が開催された。
 以前の計画では、締め切りや審査日の設定が早すぎたこともあり学習会の参加や作品の応募が少なく、日程の追加と募集期間の延長をするために再度、四万十町内の幼・保育園・小・中・高校、高知市内の小学校、当協会の会員等に案内を出した。
 10/10(日)、1日目の午前中は、高知市立わんぱくこうちアニマルランド学芸員の吉川貴臣講師による『学習会』を行い、午後からは現地に集合した参加者を中村滝男講師がガイドした。
 この日の午前中のイベントの様子は、YouTubeに後日配信した。
 10/24(日)、2日目、12/26(日)の3日目の両日の午前中は、中村滝男講師により学習会がネイチャーセンターで行われ、午後の部のヤイロチョウの森のガイドツアーも中村滝男講師により執り行われた。
 R4.1/16には協会の理事らによりそれぞれの賞が審査され、4日目、最終日のR4.1/29(土)に、『コンクール発表イベント』をYouTubeで生配信した。(コロナ感染拡大のため、授賞式は中止)
 高知県内外の56名から、計68点が寄せられ、ぬりえ部門(優秀賞1点、入選5点、佳作3点)、作文部門(優秀賞1点、入選1点、佳作7点)の受賞者を発表し、副賞(※個人寄付による)として図書券等を送った。
 イベントの最後には、サンドイッチパーラーによるヤイロチョウの歌、「リラルラ」を演奏していただき、イベントを締めくくった。
 会場にはスタッフや関係者、観客も含め、12名が同席した。

【プログラム】

実施年月日:	令和3年10月10日(日)		
場 所:	四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター&下道のウォーキングトレイル 等		
日 程:	<p><1日目> 午前「ヤイロチョウの森についての学習会」 9時30分にネイチャーセンター集合後、60分間ヤイロチョウの森や生き物について説明、講師、吉川貴臣さんが自己紹介をしたのちレクチャー開始。親子1組(子ども2名、大人1名)</p> <p>午後「ヤイロチョウの森でガイドツアー」 13時～14時30分 中村滝男講師が、現地で集合の親子2組にヤイロチョウの森の動植物について解説しながら下道のウォーキングトレイルを案内した。親子2組(子ども3名、大人2名)</p> <p>詳しくは当協会のホームページのYOU TUBEチャンネルより、当日の学習会の様子が閲覧できる。</p>		
募集地区:	高知県はもとより、全国区	募集対象:	高知県を中心にした親子
募集方法:	高知市、四万十町の小学校、通信に力を入れている学校を中心に配布、その他は、当協会の会員にもチラシを郵送した。 関係者にもSNS(当協会のフェイスブック、ホームページ、イベント情報、ライン)などで告知し、周知を計った。	参加費等:	無料
参加人数:	大人 3名 スタッフ 2名	子供 5名 外部講師 1名	

実施年月日:	令和3年10月24日(日)		
場 所:	四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター&下道のウォーキングトレイル 等		
日 程:	<p>10/21までに参加申込がなかったため日程の変更を行ったが、直前で申し込みがあったため敢行した。 <2日目> 午前10月24日(日)、「ヤイロチョウの森についての学習会」 9時30分にネイチャーセンター集合後、60分間ヤイロチョウの森や生き物について説明、講師、中村滝男がレクチャーを担当した。親子1組(子ども1名、大人2名)</p> <p>午後「ヤイロチョウの森でガイドツアー」 13時～14時30分中村滝男講師が、センターで学習を終えた後、国道435号線に沿って下道までの動植物について車を降りながら、ガイドを行った。親子1組(子ども1名、大人2名)</p>		
募集方法:	同上	参加費等:	無料
参加人数:	大人 4名 スタッフ 2名	子供 2名 外部講師 0名	

実施年月日： 令和3年12月26日(日)			
場 所： 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター&下道のウォーキングトレイル 等			
日 程： <3日目> 午前「ヤイロチョウの森についての学習会」 10時にネイチャーセンターに親子1組が参加。ネイチャーセンターでDVDを見たり、ヤイロチョウのレクチャーを受けながら、サンジャクについても中村滝男講師によりレクチャーを受けた。参加するために訪れたのだが、黒潮町で捕獲されたサンジャクの運搬とセンターのゲージに移すのを手伝っていただいた。親子1組(子ども1名、大人1名) 午後「ヤイロチョウの森でガイドツアー」 13時～14時30分中村滝男講師が、ネイチャーセンターから参加者とともに現地へ向かい、下道地区のヤイロチョウの声が聞こえる集落を案内し、センターへ帰って来てから感想など書いていただいた。親子1組(子ども1名、大人1名)他、飛び入りでの参加の大人2名			
募集地区：	高知県はもとより、全国区	募集対象：	高知県を中心にした親子
募集方法：	同上	参加費等：	無料
参加人数： 大人	4名	子供	2名
スタッフ	2名	外部講師	0名

実施年月日： 令和4年1月29日(土)			
場 所： 四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター			
日 程： <4日目> 発表イベント 10時30分ごろから、サンドイッチパーラーさんに、YOU TUBEに録画放送するため等の準備にボランティアでお出でていただいた。司会は地元でゲストハウスを営んでいる小野さんに依頼。 13時から中村会長のあいさつに続いてぬりえ、絵画、作文部門についてそれぞれ優秀、入選、佳作の発表が行われた。終わりにサンドイッチパーラーさんの歌の発表があり、15時記念イベントを終了した。 マスコミからは、高知新聞、四万十ケーブルテレビに取材に来ていただいた。観客大人2名			
募集地区：	高知県はもとより、全国区	募集対象：	高知県を中心にした親子
募集方法：	同上	参加費等：	無料
参加人数： 大人	2名	子供	2名
スタッフ	8名	外部講師	0名
○マスコミ等での紹介例(あれば) 四万十町のケーブルテレビ・高知新聞(1/31掲載)			

<p>○感想 まとめ</p> <p><参加者> 講師からヤイロチョウについて知らなかったことを学習できて良かった。 生き物の好きな子どもたちとヤイロチョウが生息する森を案内していただき良かった。</p> <p><スタッフ> 事業実施期間内に応募を締切、審査、表彰等の日程を逆算しても変更可能な最終日程が12/26でした。対象者や応募のジャンルの幅を広げ、出来る限り参加者募集・作品募集に努めました。学習会の参加が思うほど見込めませんでした。しかし、コンクールに応募するために、実際の場での学習会(ネイチャーセンター、森でのガイド)を開き、それに呼応する形でコンクールに出品していただいた方もおられたので、収穫があって良かったと思っています。またYouTubeを見て学習したり、独自に調べて応募された方もいて本事業が森林環境学習のきっかけになっているので参加者数+αだと思っています。 ぬりえは、思ったより応募数が多く、今後ヤイロチョウの普及啓発にはぬりえを大いに活用できるということもわかりました。今後、応募をたくさんしていただくために、ぬりえをデザインできる方や普及啓発品を探したいと思いました。</p>
